

研究会レポート

倫理研究会

文責：倫理研究会 幹事 今井淳一

2010年度 第2回定例会 活動報告

はじめに

倫理研究会では、2010年度(平成22年度)第2回定例会を8月9日 月曜日にドーコン新札幌ビル3階会議室にて行いました。今回は新入会員4名を含め、18名の会員の方々の出席のもと行っております。



特に、今回は久々に能登顧問も参加され、盛況な定例会となりました。

1 定例会報告

1-1 新入会員の紹介

今回の定例会より伊藤優子氏、小野孝氏、川浦広樹氏そして中埜渡丈嘉氏の4名の技術士の方々が新たに会員になられ、自己紹介と既会員の方々の紹介が行われました。会員数はこれで25名になりました。

1-2 内部講師による講演

齋藤技術士より「聖書と倫理」と題した話題提供がありました。齋藤氏は8年前に洗礼を受け、キリスト教信者になりました。そこで、キリスト教とはどのような世界か、キリスト教はどのような背景で現在に至ったのか、洗礼を受けるとどうなるのか、旧約聖書と新約聖書には何が書かれているのか、齋藤氏の体験談を交えて紹介がありました。また、現在、社会問題となっている事柄を紹介して、倫理を考えるひとつの側面を紹介しました。



(1)世界の宗教人口の内、キリスト教徒は世界の約35%を占める。

- (2)カトリックとプロテスタントの違いはなにか。
- (3)聖書とはイエスが生まれる前に書かれた旧約聖書とキリストの生涯とその教えを伝える新約聖書とがある。
- (4)キリスト教は降誕祭(クリスマス)と復活祭(イースター)の2大祭がある。
- (5)キリスト教が今、問題にしているものは家族問題、遺伝子操作の問題、死刑問題等、生と死をめぐる諸問題であり、それらの紹介をした。

大変興味深い話をご自身の体験をベースに講演していただきました。

2 平成 22 年度の事例研究その 1



日下部技術士より、事例研究課題として「社内鉄工部の倫理」と題し、「企業内での調達の在り方と社内での部間でのやり取りにおける適正と優先性」について、功利主義テスト(最大多数の最大幸福：行為功利テスト、費用便益テスト、規則功利テスト)と個人尊重主義テスト(個人の権利を平等に尊重する：黄金律テスト、自滅テスト、権利テスト)の考え方をを用いて倫理上の観点を解説しました。

しかし、同一企業内での部間の取引と公益との関連性や企業内での利益の最適化の在り方について色々な意見が出され「技術者倫理」に当てはめて解くことの妥当性が議論となり、今後の課題として各項目別に議論するまでには至りませんでした。

3 (仮称)「技術者倫理研究・全国情報交換会」

3-1 概要

平成 22 年 9 月に四日市市で開催される、全国大会を機に、第 7 回技術者倫理研究事例発表大会と併せて、技術者倫理研究の全国の活動状況の情報交換と今後の活動等についての意見交換を行い、今後の全国での技術者倫理研究のありかたを探る。

3-2 日時、場所

平成 22 年 9 月 24 日(金) 9:30 ~ 12:00

：しばさん三重 4 階研修室 3

13:00 ~ 17:00 第 7 回技術者倫理研究事

例発表大会：四日市文化会館

3-3 北海道支部からの出席者

北海道支部 倫理研究会からは、花田代表、飯野、佐崎両幹事の計 3 名が参加

3-4 内容

- ①全国規模の活動状況の発表・報告(技術者倫理モデル事例集の紹介等)(15分)
- ②各倫理研究会からの活動状況の報告(各15分×5=75分)
- ③今後の活動予定について(意見交換)(60分)
- ④その他意見交換(例)地区の技術者倫理に関する CPD の現状と課題、技術者倫理に関する人材交流・教材活用等)

3-5 その他

9 月 25 日開催の展示ブース(5.2 m)

：北海道支部 倫理研究会からは、ポスター 2 枚を出品

予定：

次回のコンサルタンツ北海道で本情報交換会の結果報告も合わせて行います。